



三ヶ島葎子令和の百首選 児童・生徒が選んだ十首

夕立の雨なごりなく晴れわたり星のすがしき夜ぞらとなれり

雪ふれば何かうれしくおのづから足ぶみをして唱歌をうたふ  
しょうか

いつまでももの学びたきに卒業の日は近づきぬ三月きたりて  
そつぎょう

色づきし森の梢を声もなくはなれてゆきし一羽の鳥  
こずえ

秋風は空より吹きて心地よし散りしける柿の落葉の紅  
くれない

山越えて友をたづぬる初春の真昼の空に富士あらはれぬ  
はつはる まひる

いつまでも水浴びやめず弟はくちびるの色むらさきなるに  
みずあ

引越の荷物いだして部屋ひろし本棚のあと畳に残る  
ほんだな たたみ

藤の花咲くべくなりぬ見あぐれば藤棚こめて煙るむらさき  
ふじたな けむ

今は何も言うことをえずと友は泣きぬ今宵別れていつまた逢はん  
こよい あ

令和6年1月 市内公立小中学校の児童生徒が選びました。



所沢市ホームページ